

まえばし清掃工場だより

～第2号～ 発行者：前橋市環境部清掃施設課 発行日：平成30年9月15日
電話：027(223)5300 E-Mail：seisoushisetu@city.maebashi.gunma.jp

ペットボトルをリサイクルしやすくするために・・・

～キャップ・ラベルはずしに、ご協力をお願いします！～

集積場所から集められたペットボトルは、大渡町にある「ペットボトル選別処理施設」で異物などを取り除き、再生事業者へ引き渡します。ペットボトルは、衣類などの繊維やプラスチック製品の材料としてだけでなく、ペットボトルからペットボトルへの再生など、より高度なリサイクルが可能な「資源」です。

リサイクルを円滑に進めるためには、キャップやラベルなど、ペットボトル以外の素材を取り除くことが大切です。



ペットボトル選別処理施設（大渡町一丁目）



【ペットボトルの種類】

ペットボトルは、清涼飲料、酒類、調味料などの容器に使われています。PETリサイクルマーク（左図）を目安に分別してください。

PET リサイクルマーク

※食用油やソース、化粧品などのボトルは、「ペットボトル」でなく「プラ容器」に該当します。

【ペットボトル分別のポイント】

◎キャップをはずし、ラベルをはがす

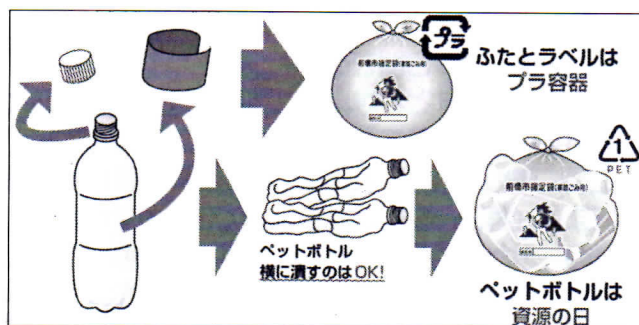
キャップとラベルは「プラ容器」へ。ペットボトルだけで袋に入れてください。

◎横方向につぶす

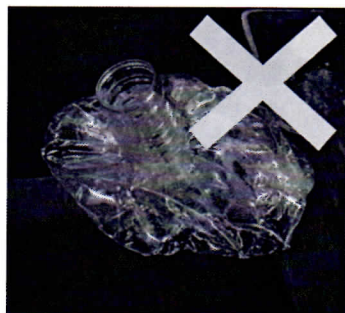
ねじったり、縦方向（ちょうちん型）につぶさないでください。（選別のとき、素材の確認や異物の混入などが分かんなくなるため）

※汚れている場合は、ざっと水洗いしてください。

※取り外しにくいしょうゆボトルの中栓や、キャップを外した後に残るリングなどは、取り外す必要はありません。



ペットボトルの出し方



縦（ちょうちん型）につぶした物



工作で使った物

選別処理施設からのお願い

施設では、リサイクルできないものを取り除いています。特に、たばこなどの異物が入っている物や工作で使った物、マジックなどで×モ書した物、小さく切った物などは、リサイクルできませんので、絶対に混ぜないでください。

荻窪清掃工場の紹介

◆◆◆「資源リサイクル」に一層のご協力を！◆◆◆

荻窪町にある荻窪清掃工場は、不燃ごみ・粗大ごみの処理施設であると同時に、ガラスびん・プラ容器など、資源リサイクルの拠点としての役割も担っています。

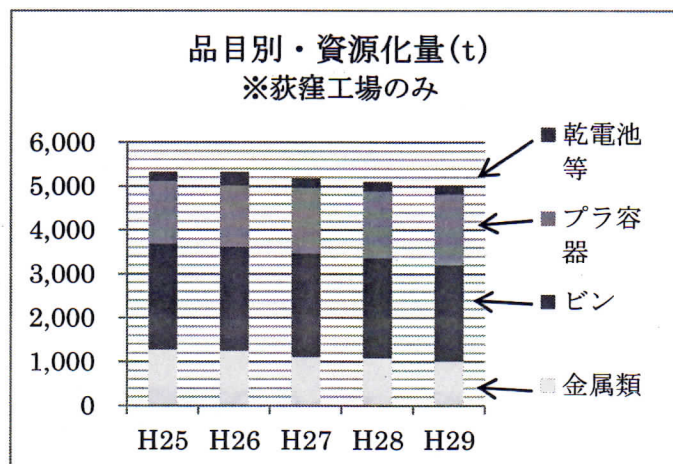
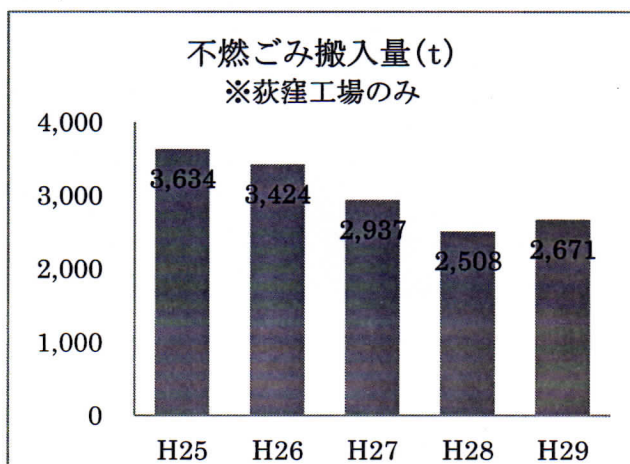
不燃ごみは、破砕機で小さく砕いた後、磁力や風力等により、鉄・アルミ・可燃物・不燃物の4種類に選別し、鉄・アルミについては有価物として売却、可燃物は焼却工場で焼却、不燃物は最終処分場に埋め立てています。

ここ数年、不燃ごみは市民の皆さんのご協力により減少傾向にあります。工場の搬入実績は、平成25年度(3,634ト)と29年度(2,671ト)を比較すると、約3割も少なくなっています。(下図-左)

資源ごみのうち、ガラスびんについては、種類や色ごとに選別し、「生きびん」はリサイクル業者へ売却、「使い捨てびん」は、「プラ容器」と同じく、日本容器包装リサイクル協会に引渡して資源化しています。

資源化量は、ここ数年5,000ト代で推移しています。(下図-右)

今後とも、「資源リサイクル」に一層のご協力をお願いします！



荻窪清掃工場からのお願い

◆◆◆プラ容器は、「二重袋」で出さないで！◆◆◆

皆さんは、プラ容器をどのように出していますか？

プラ容器を出すときは、「二重袋」にしないでください。「二重袋」とは、レジ袋などに入れたプラ容器を、さらに、市の指定袋に入れることです。(汚れたプラ容器は、軽く水洗いしてください。)

工場に集められたプラ容器は、破袋機(袋を破く機械)を通した後、選別ラインで手選別により異物などを取り除いています(写真-左)。「二重袋」で出された場合、もう一度手作業で袋を破かなければなりませんので(写真-右)、作業の効率が悪くなるとともに、選別の精度が悪くなってしまうおそれがあります。

プラ容器は、直接市の指定袋に入れて出すようにしてください。



■手選別作業の様子(異物などを除去しています。)



■手作業による破袋の様子(作業効率が低下します。)